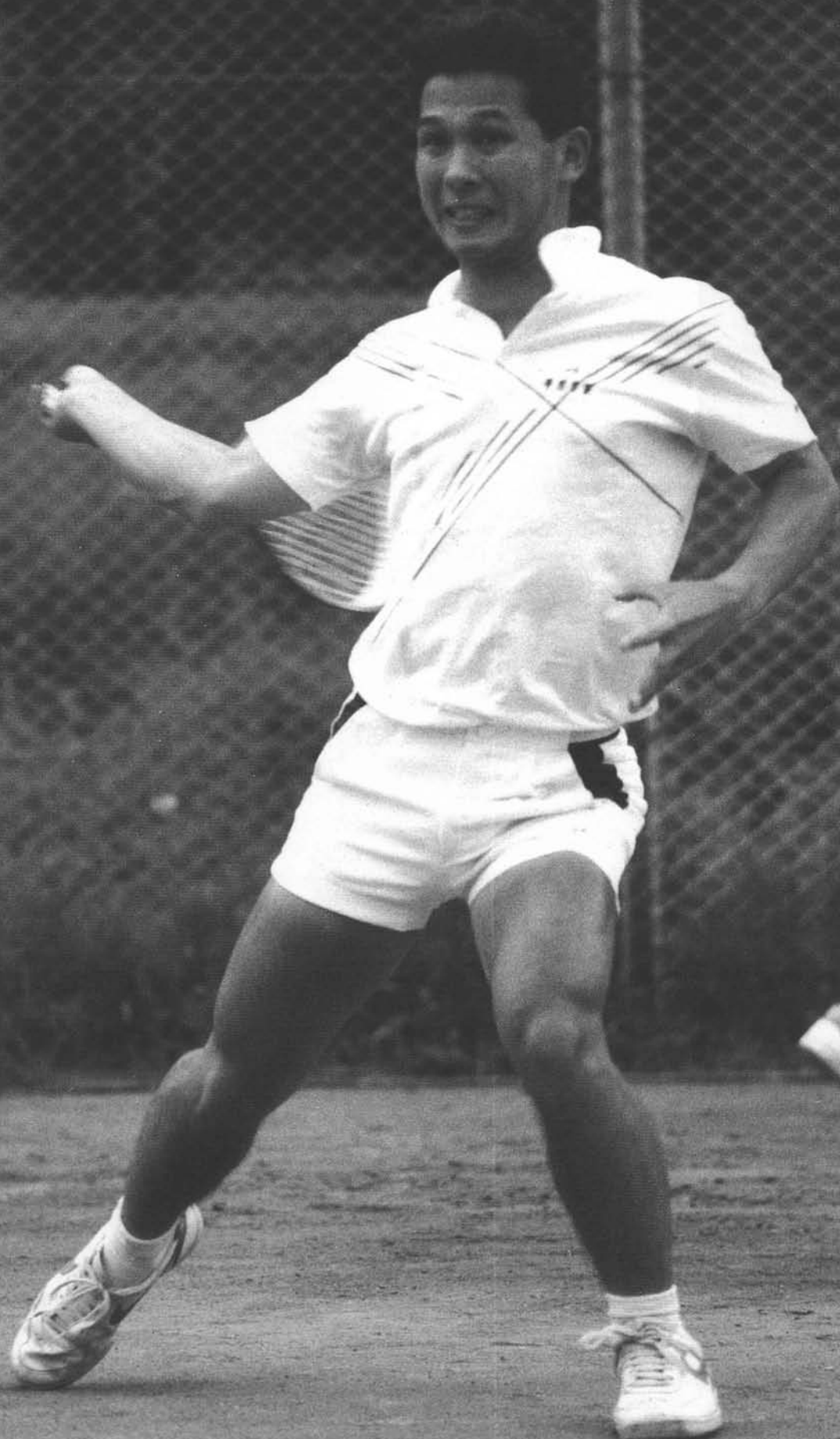


軟式庭球部





1932(昭和7年)・秋 大学リーグ戦優勝記念。東京目黒コートに於いて。



1930年代 達人(日向正善)と名人(呉啓三郎)。両氏は共にテニス道を極めた。



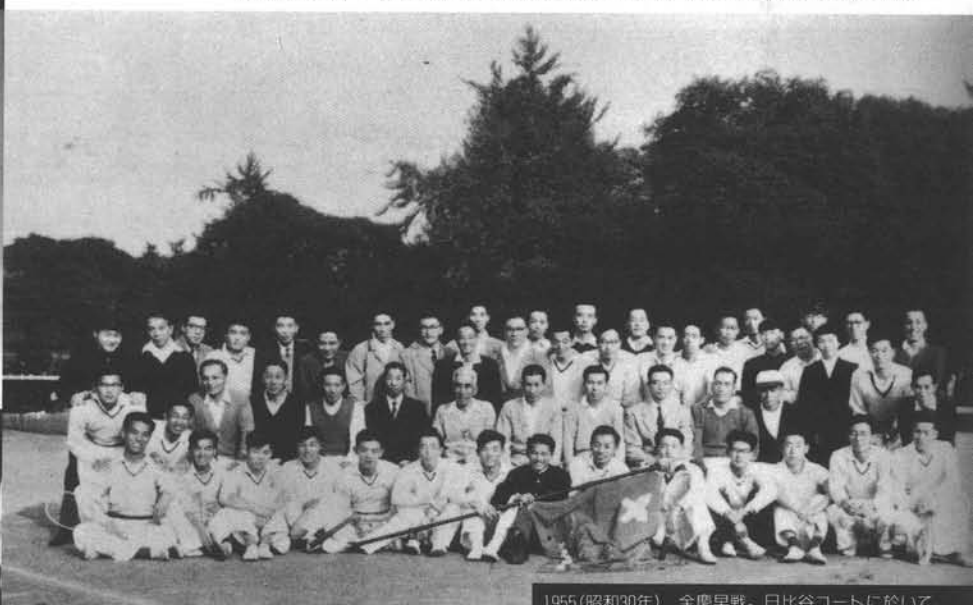
1952(昭和27年)・11・16 三田軟式庭球倶楽部の創立総会。新橋うなぎ屋大和田に於いて。



1952(昭和27年) 三田軟式庭球倶楽部創立当時の倉橋会長、河村部長、岩井監督兼理事長。



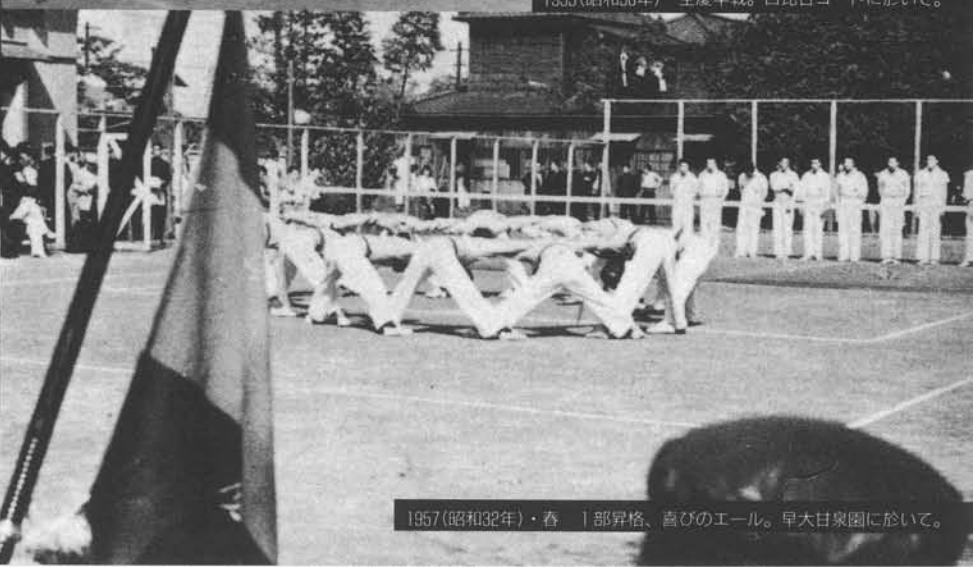
1953(昭和28年) この年に創刊され現在継続発行されている「部報と合本号」。



1955(昭和30年) 全慶早戦。日比谷コートに於いて。



1957(昭和32年) 大田原の合宿、憩いのひととき。



1957(昭和32年)・春 1部昇格、喜びのエール。早大甘泉園に於いて。

1957(昭和32年) 大田原合宿の成果を遺憾なく発揮した全日本学生、市巾行進。酒田市に於いて。



1959(昭和34年) 医学部新コートの全景。



1957(昭和32年) 初の女子
6大学リーグ戦への参加。
日比谷コートに於いて。



1957(昭和32年) 対同志社大初勝利。京都に於いて。



1958(昭和33年) 慶應義塾創立100年記念、体育会パレード軟式庭球部の行進。



1959(昭和34年) 第11回三田倶楽部女子総会。



1959(昭和34年) 日吉に完成した合宿所と竣工式で祝辞を述べられる奥井塾長。



1959(昭和34年) 全日本大学対抗戦で準優勝。会津若松市に於いて。



1959(昭和34年) 全日本学生シングルスと東日本学生シングルの両タイトルを制した内藤尚男選手。



1961(昭和36年) 第2期黄金時代の立役者西村信寛選手。西村氏は現日本軟式連盟の専務理事として活躍中。



1961(昭和36年) 東日本学生準優勝の西村・糸川組、東日本シングルス第3位の岡井選手。



1968(昭和43年) 爽快なスマッシュと切れ味の鋭いボレーで日本を代表する名前衛の大久保勉選手。

会軟式庭球部30周年記念祝賀会



1979(昭和54年) 三田倶楽部より監督を勇退した糸川氏に感謝状を贈る。右、糸川氏、左、佐野部長。

体育会優秀選手整長



1979(昭和54年) 体育会優秀選手整長招待会。

祝慶應義塾体育会軟式庭球部30周年記念祝賀会



1979(昭和54年) 体育会昇格30周年記念祝賀会を開催し、岩井会長より塾体育会に対し寄附金を贈呈する。右、金子理事。



1987(昭和62年) 練習前の内藤監督の檄。

1931 日向正善氏(29年全日本選手権優勝)鎮目、若林、小野氏等が中心となり、塾内對抗競技部として「慶應軟式庭球クラブ」を結成。部長は井坂清治教授。

1932 春、大学高専リーグに初参加し、見事に優勝。続く秋季リーグも連覇。

1933 岩井三郎氏が他大学の各氏と行動を起こし、糸川欽也医学博士を会長とした日本学生軟式庭球連盟を結成。

1934 春、新発足した学連リーグで慶早が優勝を分け合う。その後も数回優勝を果たす。

1938 小林彦彦、呉啓三郎組の全国制覇成る。

1948・5 憲法記念大会で田中、小熊組準優勝。

1949 春、体育会軟式庭球部に昇格。部長は河村知男教授。初代監督は岩井三郎氏。秋国体の大学対抗で早稲田に敗れ準優勝。

1950・9 現日吉記念館の場所に5面の日吉

テニスコート完成。

1952 春、東京6大学リーグ戦始まる。夏京都で第1回慶應同志社戦開催。秋 OBの三田軟式庭球倶楽部が組織される。会長倉橋富治氏、副会長森文雄・新藤栄一両氏、理事長監督兼任岩井三郎氏等が就任。

1953・5 当時の主務豊田隆郎氏が「部報」を創刊する。この部報は今日まで続き、現役及び三田倶楽部の発展に貢献している。

1957 春、50年秋2部転落以来、10度に及び1部挑戦で果たせなかった1部昇格を達成。この年、西村、糸川、村井等の有望な新人の加入をみた本塾は、以降、1930~40年代に続く第2期黄金時代を迎える。

1958・7 第1回東日本学生シングルス選手権で内藤尚男優勝。9 第1回全日本シングルス選手権で内藤尚男優勝。12 下田運動場に現4面のコート完成。

1959・7 東日本学生で村井・水内組準優

勝。8 全日本大学対抗戦で早稲田と優勝を争い、準優勝。9 全日本大学シングルスで西村ベスト4。12 OB及び現役父兄の寄付により、テニスコートに隣接した合宿所完成。

1960・7 東日本一般選手権、東日本学生で西村・糸川組ベスト4に進出。東日本学生シングルス岡井ベスト4。10 第3回アジア選手権西村・鳥井組ベスト4進出。

1961・7 東日本学生シングルス岡井ベスト4。

1962 夏、国立台湾大学と親善試合実施。

1963・8 全日本一般西村・松田組3位。

1964 春、15年間監督を勤めた岩井氏勇退。代わって越前氏監督に就任したが、間もなく転勤となり、糸川氏が監督に就任。8 全日本一般西村・佐藤組準優勝。

1965・7 東日本学生中西・青山組ベスト4。



1966・7 東日本大学対抗で中央に敗れ、準優勝。東日本学生中西・大久保組準優勝。全日本学生シングルス中西ベスト4。

1967・8 全日本一般で大久保・白戸(芝工大)は決勝に進出、準優勝。

1969 河村部長が引退され、堀江教授が部長に就任。

1970・7 東日本シングルス伊地知ベスト4。

1972 三田軟式庭球倶楽部倉橋会長勇退。岩井氏会長、豊田氏理事長に就任。／秋 堀江部長勇退。佐野教授部長就任。東日本シングルス中村千春ベスト4。

1979・10 体育会昇格30周年記念行事を三越本店で盛大に挙げる。200名が集まる。15年間監督を勤めた利川氏勇退。内藤享佑氏が第4代監督に就任。現在に至る。

1981 佐野部長勇退。米田治教授部長就任。

1984・8 全日本大学対抗戦ベスト4進出。

1986・7 東日本学生原・難波組ベスト4。

1987・3 三田倶楽部豊田理事長勇退、風間清氏就任。CAP運動を提唱。／4 宿願の東京6大学リーグ初制覇。

1988・4 女子部東京6大学リーグ優勝。1967年春の初優勝より通算16回目。

1989 40周年記念事業として合宿所兼クラブハウスの新築決定。

1991・10 OB寄付により合宿所兼クラブハウスの着工、1992年3月に完成披露と40周年祝賀会を日吉で開催予定。



1987(昭和62年)・春 宿願の東京6大学リーグ初優勝成る。翌年、女子部も優勝。